

# 週報

令和 5 年 11 月 17 日  
2023~2024年度 No.15

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

## プログラム

S A A 藤川 博士君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆誕生祝

☆食事懇談

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「ロータリー財団月間卓話」

山下 克己君

☆点 鐘

現在会員					28名					前々回の欠席者(10/20)					4名	
本 日	出席	21名			欠席	3名				免除(a)欠席	2名		出席率	87.50%		
									免除(b)欠席	2名						
前々回	出席	13名			MU	5名				免除(a)MU	2名		修正出席率	82.61%		
									免除(b)MU	3名						
月別出席率%		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度	77.26	83.66	87.66	84.78											
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39			

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111  
例 会 金曜日(12時30分~13時30分)  
事 務 所 長崎県五島市末広町8-4  
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 平 村 和 弘  
副 会 長 山 里 一 郎  
幹 事 松 岡 孝 博  
雑誌:会報委員長 寺 澤 信 義

## 誕 生 祝

柳田 靖夫君(昭和38年11月12日生)

今日は、誕生祝いありがとうございます。ロータリークラブに入会して13回目の誕生日を迎えました。遂に還暦60才になってしまいました。髪の毛はさみしくなるわ、物忘れはひどくなるわで、はがゆさが増してくる今日この頃です。

今年は大好きなゴルフも例年よりは少なくなり、スコアも満足いくことはほとんどありませんが、10月からウォーキングにはまっています。それも速足で1時間6km以上のペースで歩いています。嫁からは何が楽しくて歩くのかと、ばかにされますが、継続していきたいと思っています。

最後に、今後とも出来る範囲ではありますが、ロータリー活動に参加しますので宜しくお願いします。本日は、ありがとうございました。



## 会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。先週に引き続き、パレスチナ問題についてお話しさせていただきます。

先週のイギリスの三枚舌外交の続きです。ユダヤ人にもアラブ人にも国を認めると言って、その後の混乱を招く元凶になったものです。結局、オスマン帝国の領土は、イギリスとフランスが山分けすることになりました。

ユダヤ人は「だまされた」と思いつつ、パレスチナの地に移り住む動きを強めていきます。そして最後の決め手となったのが、ナチス・ドイツによるホロコーストです。ユダヤ人というだけで60万人のユダヤ人が殺害されました。

もう二度とユダヤ人が迫害されることはあってはならないと、悲願の国をつくる思いを強めてい

きました。ナチスの犠牲者になったユダヤ人への同情もあり、1947年には「パレスチナの地に国をつくらせてあげましょう」という国連決議が採択されました。パレスチナの地を、ユダヤ人とアラブ人の2国に分けたうえでエルサレムを国際管理下に置く。当時、この土地のユダヤ人が占める割合は全人口の3分の1でしたが、56%の土地が与えられることになりました。そして翌年には、ユダヤ人がイスラエルの建国を宣言します。2000年越しの思いでユダヤ人がつくった国が、イスラエルとなります。

しかし、広大な土地を取られてしまうパレスチナ側からは「勝手に国をつくられるのはおかしい」と猛反発があがり、建国の翌日(1948年5月15日)には周辺のアラブ諸国がイスラエルに攻め込みました。これが、第1次中東戦争です。イスラエルは、建国と同時だったので最初は苦戦しましたが、国連の分割決議で認められた土地は死守しました。その状態で国を少しずつつくっていきましたが、パレスチナは相変わらず国にならない状態。周辺のアラブ諸国は、イスラエルに対する憎しみを募らせながら緊張状態が続いていきます。

その状態のなかで決定的だったのが、1967年の第3次中東戦争です。第3次中東戦争でイスラエルは、パレスチナ人が住む場所とされてきた東エルサレムを含むヨルダン川西岸(ヨルダン領)とガザ地区(エジプト領)を占領して、国連の統治下にあったエルサレムの併合を一方的に宣言しました。イスラエルは、戦争前まで認められていた休戦ラインを越えて、国際法上、認められていないところまで占領してしまいました。この時、イスラエルは事実上「パレスチナ」と呼ばれていた土地のすべてを占領することになりました。パレスチナ人は住み続けていますが、イスラエルが占領政策を続けていくこととなります。

こうしたことから、それまで国際的には「被害者」とみられていたイスラエル・ユダヤ人が占領者となり、ある意味「加害者」として見られるようになります。その後、25年間で4回も戦争が繰り返される事になりますが、毎回イスラエルが軍事的に圧倒します。アメリカが武器の援助をしていたこともあるのですが、ユダヤ人の結束・統率というか、身を守ろうという執念というものだと思います。のちのラビン首相とか、シャロン首相のような天才的な軍人が何人も現れ、電撃作戦や奇襲作戦を駆使して数で勝るアラブの連合軍を撃退していききました。

戦争に負け続けたアラブ側、パレスチナ側はそ

の後、「インティファダ」と呼ばれる住民の抵抗運動が広がっていきます。住民がイスラエル軍に石を投げて抵抗する運動です。この運動がどんどん大きくなっていきました。一方、パレスチナの外では、アラファト議長率いるPLO＝パレスチナ解放機構という組織が各地でイスラエルに対する武装闘争を展開していくことになります。

以上、パレスチナ問題の始まりについて2週にかけてお話しさせて頂きましたが、ハマスの台頭まではまだまだ時間がかかります。また、この問題は拗れに拗れていて、解決するのは簡単なことではないことは、ご理解いただけたかと思います。世界の指導者たちが知恵を出し合って、この問題を解決できることを願ひまして、一旦この話を閉じさせて頂きます。これで、本日の会長の時間を終わります。

## 幹事報告

副幹事 西上裕一郎君

### 【当クラブ関係】

- 第5回理事会の報告
- 12月1日（金）18時00分から例会を開催し終了後、忘年会を開催  
場所：カンパーナホテル  
内容は親睦委員会に一任。  
有川親睦委員長より、LINE等で案内文をお送りしています。案内文に記載されていますように、例年は18時30分から例会開始し終了後忘年会ですが、今年度は忘年会の時間を長くとれるよう開始時間を早めています。18時00分から例会開始ですので、お間違えの無いようお願い致します。
- 年次総会を12月22日（金）12時30分からの例会終了後に開催  
内容は例年通り  
※開催にあたって本日の例会終了後、次次期会長指名委員会を開催。
- その他（議題以外の確認・申し合わせ事項）  
スマイルボックスへの納金は、義務ではなく任意であることの確認。  
愛のチャリティ歌の祭典へ参加する際に、60周年記念式典をアピールする。
- 中村吉廣さんの退会の件について  
先週の例会で回覧しました理事会議事録に記載していましたが、幹事報告でのご報告が漏れて

おりましたので、改めてご報告いたします。

中村吉廣さんは、病気療養に専念するため退会となりました。

### ● 例会休会のお知らせ

次週11月24日（金）の例会は休会です。

※クラブ定款第7条d項（1）祝日にあたる場合、またはその週に祝日が含まれる場合（次回例会は12月1日（金）18時00分開催。例会終了後、忘年会となります）

### ● 愛のチャリティ入場チケットについて

- 福江商工会議所女性会より、ご協力のお願ひがありました。（再度のお願ひ）
- ご希望の方は、事務局員までよろしくお願ひします。
- なお、愛のチャリティへ出場する方と、舞台上がってパフォーマンスする方、および会場へ入場される方はチケット必須となっておりますので、ご購入をよろしくお願ひします。

### 【地区関係】

- R L I 研修会（第1回は12月10日にZoomで開催。全3回開催）への参加者を募集しております。ご希望の方は、松岡幹事までご連絡ください。ロータリーの活動について学べる研修会です。全3回ですが、今年度1回、来年度2回の受講でも結構ですので、よろしくお願ひします。

### 【その他】

- ハイライトよねやま 第284号
- バキオだより 第99号
- 財団室NEWS 2023年11月号
- ロータリー財団リソースのご案内

## 委員会報告

## 出席報告

- ◆ 11月17日（欠席者メイクアップ）  
坂井 成光君 中村 栄治君 松岡 孝博君  
寺澤 信義君 山口 裕之君
- ◆ 11月17日（免除(a)欠席者）  
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 11月17日（免除(b)欠席者）  
佐々野邦久君 谷川 和啓君
- ◆ 11月17日欠席者  
神之浦文彦君 小畑 和男君 三村 剛孝君

## 親睦委員会

### スマイル報告

- ◇山下 克己君 本日のロータリー財団月間卓話  
よろしくお願ひ致します。
- ◇柳田 靖夫君 本日は誕生祝ひありがとうございます。
- ◇平村 和弘君 山下克己さん、本日はロータリー  
財団月間卓話よろしくお願ひし  
ます。
- ◇山里 一郎君 ”
- ◇清瀧 誠司君 ”
- ◇吉田 泰之君 ”
- ◇戸田 博之君 ”
- ◇張本 民雄君 ”
- ◇山下 実君 ”
- ◇才津 喜彦君 柳田靖夫さん、誕生日おめでと  
うございます。
- ◇片山 雅文君 ”
- ◇西上裕一郎君 ”
- ◇橋本 武敏君 ”
- ◇有川 真史君 ”
- ◇藤川 博士君 ”
- ◇宮脇 秀至君 ”

合計 16,000円

通算合計 283,000円

## 部内卓話

### 「ロータリー財団月間卓話」

山下 克己君



先日、日曜日のことですが、平成5年11月12日、松岡幹事に引率いただき、佐世保市相浦の相浦コミュニティセンターで開催されました、ロータリー財団セミナーに参加しました。つきましては、その参加報告をいたします。

ロータリー財団委員長の岡村康司委員長の開会宣言に引き続き、千葉憲哉副ガバナーの開会挨拶があり、ポリオとそのワクチンについての話、ロータリー財団についての理解、グローバル補助金、ロータリー財団の役目と意味等についての話がありました。

その後、来賓紹介を経て、講演①『ポリオ撲滅までのロータリー財団の活動について』ということで、大村ロータリークラブ出身の西川義文補助金委員長の講演があり、小児マヒについて、人から人へ感染し身体マヒが発症することや、主に5才未満の小児が感染すること。また、現在に至るも、簿毀滅以外の有効な治療方がないこともあり、我々のロータリークラブのポリオ撲滅運動についての進捗状況等の話がありました。3年間、発症がないことで撲滅宣言がなされ、多くの地域で撲滅が宣言されているものの、パキスタンやアフガニスタンの一部で発症が認められていることや、ポリオプラスへの寄付継続が必要不可欠であるという話がありました。

引き続き講演②では、『2015～2016年度G G奨学生の帰国報告』ということで、片岡一生さんによる卓話がありました。

長崎南山高校から、ロータリーの助成による英国留学。

地域社会の経済発展の支援。

新興国、20か国以上のクラスメート。

ビジネスを通じての社会改革への取り組み。

①民間セクター開発。

②現地ロータリークラブとの関わりや、特にイギリス人との関り、街頭募金、多くの外国人との関りや活動の経験を経て2017年帰国。

③帰国後、あずさ監査法人勤務。

④在マイアミ日本国際総領事館勤務。

⑤ジェトロの第6期に関わることに。

1 資本や技術、人材等の国際的な関わり

2 米国調査業務

3 旧z州・沖縄地域のサービス利用等の現状等についての話がありました。

とても良い話題、内容と思いましたが、未熟な私にとっては少々以上に高度、難解の話題で理解に困難が伴い、皆さんにうまく伝えることができません。

それでも、今後の取り組みについても話があり、中堅、中小企業の海外支援、海外に現場進出する日系企業の支援の話や、人が生きづらいところでも進んで取り組む姿勢についてなど、個人の強み。得意分野としての海外支援などの抱負は、とても

頼もしく思いました。

休憩をはさんで、講演③は「2023～2024年度  
地区補助金事業報告」がありました。

予定1の「北タイ少数民族教育支援活動」は時間  
の都合で省略されましたが、予定2の「島原ロー  
タリークラブのハゼの木蠶づくりの体験」の発表  
は、和ローソク、そのご苦勞を思わせるたいへん  
面白い話でした。

こちらでもよく言われる、「はぜまけ」という  
ことにも触れられました。かぶれるのは春から夏  
の時期で、秋から冬にかけてはかぶれないものだ  
という話もありました。

塚崎 寛パストガバナーの講評を経て、16：00  
ちょうどの閉会となりました。